

VALUENEX 株式会社

VALUENEX Radar Documents + Patents DB
(バリューネックスレーダードキュメンツ+パテンツディービー)

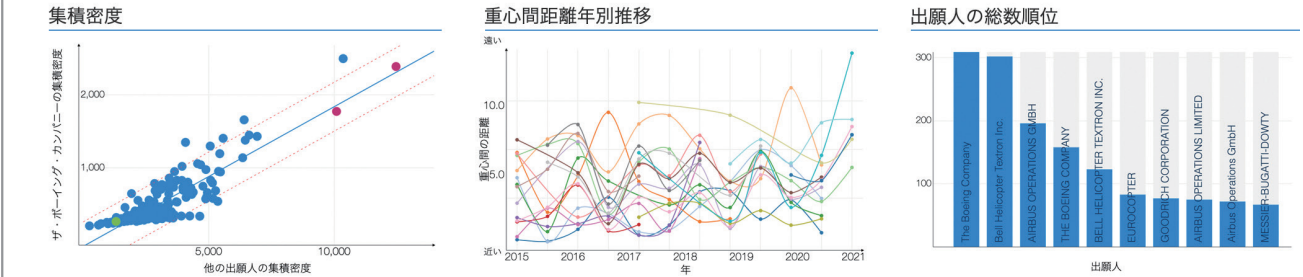
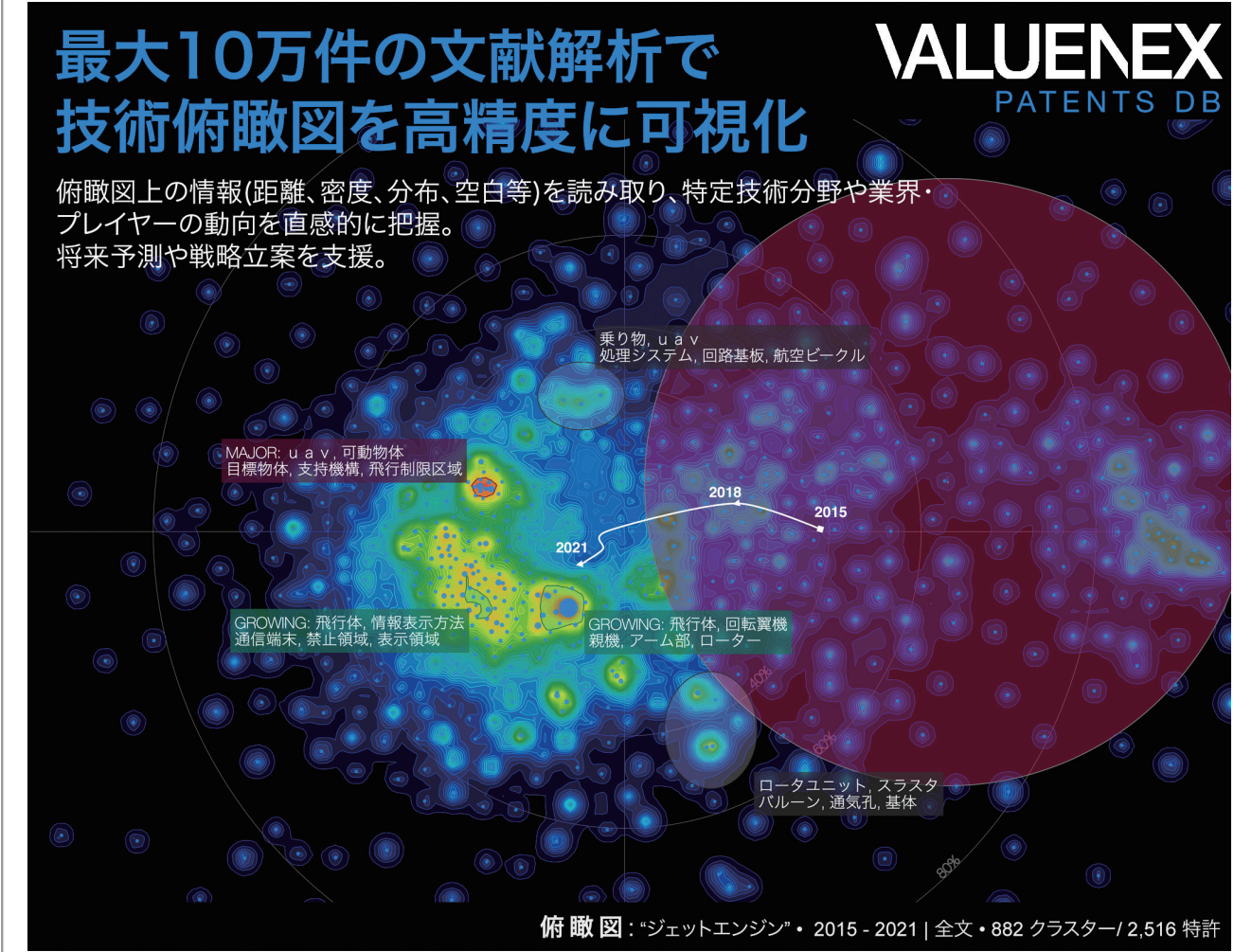
本社住所	〒112-0006 東京都文京区小日向 4-5-16 ツインヒルズ茗荷谷
URL	valuenex.com
問い合わせ先	担当部署 営業部 TEL 03-6902-9834 E-mail customer@valuenex.com

VALUENEX Radar Documents + Patents DB は特許情報だけでなく、多種多様な文書データの解析が可能です。例えば、業界・技術分野や企業の特許・論文情報を俯瞰解析し、高精度な技術マップを基に、技術用途探索や、技術開発戦略・製品開発戦略の策定を支援します。下記のような課題に対応します。

- ・技術分野の把握
- ・技術用途探索
- ・新事業テーマの探索
- ・日本、及び海外各国特許の混合解析（言語統一の必要あり）
- ・特許、及び論文を用いた研究フェーズと開発フェーズの比較分析
- ・企業のプレスリリースやアンケート自由記述などの非技術系データの解析 など

機能詳細

データ	解析対象	特許、論文、社内文書、ロコミ、プレスリリース、アンケート等のテキストデータ(日・英・中いずれかの言語)							
	入力方法	CSV / Excel 形式 / その他 / PatentSQUARE との連携							
	処理可能最大案件数	10 万件	特徴	解析上限件数を抑えた、リーズナブルな契約プランもあり					
データの編集機能	検索（絞込み）機能	可	特徴	自然文、公開・登録番号による概念検索及び、書誌情報による検索					
	データの追加・修正・削除	可	特徴	複数の母集団をまとめて解析、レーダー上での再解析					
	その他の編集機能	可	特徴	アップロード用に成形する作業を補助する専用ツールがあり					
解析項目	解析可能項目と上限値	出願人	解析可	上限	無	上限値	0	備考	俯瞰解析後のフィルター項目
		発明者	解析可	上限	無	上限値	0	備考	俯瞰解析後のフィルター項目
		IPC	解析可	上限	無	上限値	0	備考	俯瞰解析後のフィルター項目
		FI	解析可	上限	無	上限値	0	備考	データをご用意頂く必要あり
		CPC	解析可	上限	無	上限値	0	備考	データをご用意頂く必要あり
		技術用語	解析可	上限	無	上限値	0	備考	全文、要約、請求項、要約・請求項を強調の3パターンあり
		その他項目・項目の任意追加	発行年 / 出願年 / Fターム。公開・登録番号を基に他データベースの出力項目を結合可能						
特許文献・参考文献サポート		有	特徴	特許リスト出力（部分出力も可）、明細全文リンク表示が可能					
引用文献サポート		無	特徴						
特許価値評価機能		無	特徴						
AI 活用サービス		有	特徴	Area Summarizer 機能(領域の自動要約機能)。 メジャー・急成長・レア領域の自動抽出機能					
帳票出力	市販ソフトの作図機能	利用可	特徴	集計等の出力データを Excel や自社独自アプリ等で処理が可能					
	独自の作図機能の特徴	独自の定量評価を提供・業界における自社技術の強み、弱みの評価・業界、競合トレンド予測・自社と競合する可能性が高い企業の判定・協業先候補の評価							
データ結果の出力	CSV 出力	可	特徴	専用の閲覧・検索・集計ソフトあり					
	解析結果データの互換性	有	特徴	(分業解析を想定した際の、中間状態での転送・集約等)					
	用語切り出し&索引化機能	有	特徴	(抄録・請求の範囲等からの用語の自動切り出し機能)					
その他の機能		・解析図所定箇所（技術領域）の特許リスト出力 ・書誌情報検索に合致した特許、又は条件合致特許に類似する特許リストの出力							
他との連携	検索・DB システム	可	種類	PatentSQUARE との連携オプションあり					
		その他・特記事項等 特許の番号リストをアップロードすることにより母集団を登録することも可能							
	分析ツール	不可	種類						
		その他・特記事項等							



導入用情報

動作環境	OS	Windows 10 / 11、Mac OS X、Linux
	その他	Google Chrome、Mozilla Firefox、Safari、Microsoft Edge（いずれも最新版を推奨） ※ Microsoft Internet Explorer は一部機能が利用できません。
	関連ソフト	
サポート体制		訪問・電話・メールでのサポートを随時実施。有償のコーチングサービスもあり。
費用	導入費	別途お問い合わせください
	ランニングコスト	別途お問い合わせください
	その他	
その他・特記事項等		

VALUENEX 株式会社

VALUENEX Radar Scope
(バリューネックスレーダー スコープ)

本社住所	〒112-0006 東京都文京区小日向 4-5-16 ツインヒルズ茗荷谷
URL	valuenex.com
問い合わせ先	担当部署 営業部
	T E L 03-6902-9834
	E-mail customer@valuenex.com

VALUENEX Radar Scope は、特許の概念検索結果を俯瞰図化することを通じて、先行技術調査や無効資料調査等の一次スクリーニングを支援するサービスです。

従来の概念検索では、検索条件に対する類似度順に検索結果がリスト化されます。このリストには、意図通りに類似した特許もあれば、ノイズも含まれています。VALUENEX Radar Scope では、リスト内の特許同士の類似度に応じて俯瞰図化するため、検索結果内でフォーカスすべき特許の絞り込みが効率化できます。

機能詳細

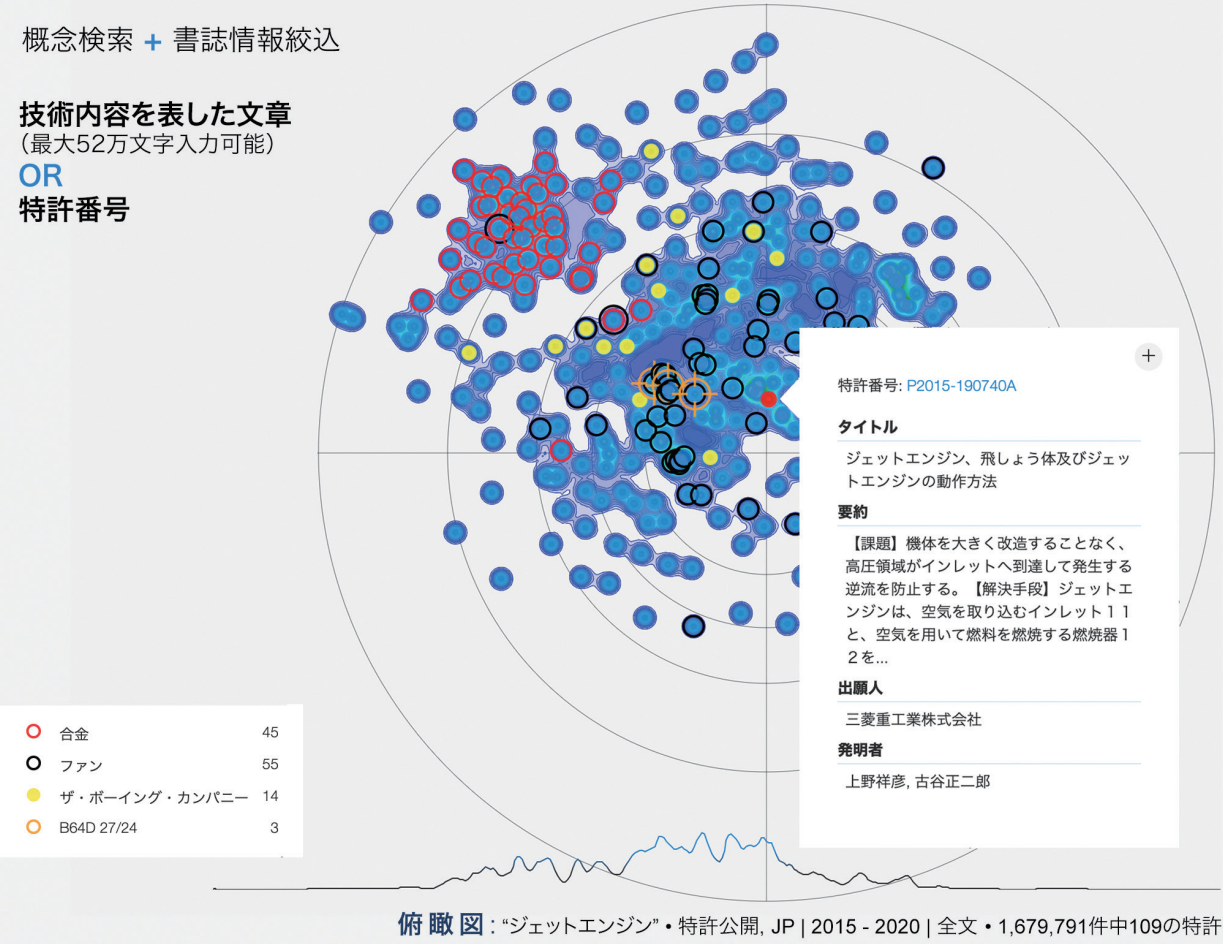
データ	解析対象	日本／米国／欧州／ PCT						
	入力方法	CSV ／ Excel 形式						
	処理可能最大案件数	1,000	特徴					
解析対象データ	検索（絞込み）機能	可	特徴					
	データの追加・修正・削除	不可	特徴					
	その他の編集機能	不可	特徴					
解析項目と上限値	出願人	解析可	上限	無	上限値		備考	解析後のフィルター項目
	発明者	解析可	上限	無	上限値		備考	解析後のフィルター項目
	IPC	解析不可	上限	無	上限値		備考	
	FI	解析不可	上限	無	上限値		備考	
	CPC	解析不可	上限	無	上限値		備考	
	技術用語	解析可	上限	無	上限値		備考	全文、要約・請求項、要約・請求項を強調の3パターンあり
	その他項目・項目の任意追加	公開・登録番号を基に他データベースの出力項目を結合可能						
特許文献・参考文献サポート		有	特徴	特許リスト出力（部分出力も可）、明細全文リンク表示が可能				
引用文献サポート		無	特徴					
特許価値評価機能		無	特徴					
AI 活用サービス		無	特徴					
解析結果の活用	市販ソフトの作図機能	利用可	特徴	集計等の出力データを Excel や自社独自アプリ等で処理が可能				
	独自の作図機能の特徴							
解析結果の活用	CSV 出力	可	特徴	専用の閲覧・検索・集計ソフトあり				
	解析結果データの互換性	有	特徴					
	用語切り出し&索引化機能	有	特徴					
その他の機能								
他のシステム	検索・DB システム	不可	種類					
		その他・特記事項等 特許の番号リストをアップロードすることにより任意の母集団で可視化も可能						
	分析ツール	不可	種類					
		その他・特記事項等						

特許調査の効率化を支援・
類似特許検索(概念検索)結果を可視化

概念検索結果を、リスト上だけではなく可視化した俯瞰図上でも確認できるため、先行技術調査や無効資料調査などの業務効率化に貢献。

概念検索 + 書誌情報絞込

技術内容を表した文章
(最大52万文字入力可能)
OR
特許番号



導入用情報

動作環境	OS	Windows 10 ／ 11、Mac OS X、Linux
	その他	Google Chrome、Mozilla Firefox、Safari、Microsoft Edge（いずれも最新版を推奨） ※ Microsoft Internet Explorer は一部機能が利用できません。
	関連ソフト	
サポート体制		電話・メールでのサポートを随時実施。有償のコーチングサービスもあり。
費用	導入費	別途お問い合わせください
	ランニングコスト	別途お問い合わせください
	その他	
その他・特記事項等		

VALUENEX 株式会社

Radar QFD

本社住所	〒112-0006 東京都文京区小日向 4-5-16 ツインヒルズ茗荷谷
URL	valuenex.com
問い合わせ先	担当部署 営業部 TEL 03-6902-9834 E-mail customer@valuenex.com

顧客が製品に求める品質を満たすための開発アプローチとして品質機能展開（QFD：Quality Function Deployment）がありますが、Radar QFD は品質機能展開に必要な「品質表（課題×技術の2元表）」と中間生成物としての階層表（課題表、技術表）を、特許情報×ビッグデータ解析×生成 AI を用いて作成するクラウドサービス型のソリューションです。

最大 1,000 件の特許母集団に含まれる技術情報を、開発現場で使える粒度の情報として整理することで、技術の全体像を把握することができ、製品品質の向上と開発業務の効率化を実現します。

● 機能詳細

データ	解析対象	日本						
	入力方法	CSV/Excel 形式						
	処理可能最大案件数	1,000	特徴	解析上限件数を抑えた、リーズナブルな契約プランもあり				
データの編集機能	検索（絞込み）機能	不可	特徴					
	データの追加・修正・削除	可	特徴	アップロードしたデータの追加および削除が可能				
	その他の編集機能	不可	特徴					
解析項目	出願人	解析可	上限	無	上限値	0	備考	出願人毎の品質表作成
	発明者	解析可	上限	無	上限値	0	備考	発明者でデータを作れば可能
	IPC	解析可	上限	無	上限値	0	備考	特定の IPC でデータを作れば可能
	FI	解析可	上限	無	上限値	0	備考	特定の FI でデータを作れば可能
	CPC	解析不可	上限	無	上限値	0	備考	
	技術用語	解析可	上限	無	上限値	0	備考	特定の技術でデータを作れば可能
	その他項目・項目の任意追加	年次毎の品質表作成						
特許文献・参考文献サポート		有	特徴	生成される品質表と階層表は特許文献と紐づけられている				
引用文献サポート		無	特徴					
特許価値評価機能		無	特徴					
AI 活用サービス		有	特徴	生成 AI を併用することで課題と技術に関する可読性の高い文章を出力				
帳票出力	市販ソフトの作図機能	利用可	特徴	集計等の出力データを Excel で処理が可能				
	独自の作図機能の特徴							
データ結果の出力	CSV 出力	可	特徴	品質表と階層表それぞれを CSV 出力可能				
	解析結果データの互換性	無	特徴					
	用語切り出し&索引化機能	有	特徴	階層表を Excel で閲覧することで辞書的な使い方が可能				
その他の機能		品質表のマトリクス上に関連文献の数が記載され、各種解析が可能						
他との連携	検索・DB システム	不可	種類					
		その他・特記事項等						
	分析ツール	可	種類	VALUENEX Radar				
		その他・特記事項等 連携オプションは実装していないが、VALUENEX Radar の俯瞰図からダウンロードした領域データを活用することを推奨						

技術大項目 1 ドローン無線通信技術			技術大項目 2 ドローン画像取得技術
技術中項目 1 ドローン活用による監視通信技術	技術中項目 2 ドローンによる遠隔操作と通信支援技術	技術中項目 3 ドローンを活用した通信範囲拡大とエコ電力供給技術	技術中項目 1 ...
技術小項目 1 監視システムにおける位置情報に基づく撮像画像再撮影技術	技術小項目 1 無人航空機の自律飛行や通信を管理する技術	技術小項目 2 無線通信中機器を介した飛行装置の制御情報受信と飛行制御端末の中継技術	技術小項目 1 ...
75			26
10			13

Radar-QFD課題表（参考用）

ドローン×通信領域

大項目 キーワード	中項目 タイトル	説明	小項目 タイトル	説明	関連する公開・公表番号
課題大項目 1 通信安定性課題 ・画像信号不良 ・帯域幅の制限 ・操作信号の遅延	課題中項目 1 ドローン技術の撮影品質と通信制御関連課題	無人航空機（ドローン）の技術に関連する多くの課題について、撮影技術における画質の品質低下、プライバシー保護、振動といった問題が指摘されており、これらはドローンの飛行経路や逆光撮影、障害物回避において特に顕著である。また、遠隔制御装置を用いた操縦の難しさや、撮像装置と音声データの同期に関する複雑な課題も存在し、これらは撮像データの品質に影響を与える航空機の振動や、撮像エリアの動的変位による画像輪郭変化が含まれる。通信方式においては、2.4GHz帯電波の利用、通信速度の不安定さ、直接通信の必要性が課題として挙げられている。さらに、遠隔制御デバイスの保持方法が通信品質に大きな影響を与えることや、PTPとMSCのプロトコル切り替え時の問題点が指摘されている。これらの課題は、ドローンの実用性向上と操作性の改善に向けた研究開発の重要な指針となっているという課題が示されている。	課題小項目 1 無人航空機の逆光撮影や障害物回避に関する課題	無人航空機の飛行経路によって撮像画像の品質がユーザの意図と異なる問題がある。特に逆光撮影や障害物回避に関して課題があり、遠隔制御装置を使用した操縦が難しいことが示されている	特開2021-97268、 特開2018-92237、 特開2018-78433、
			課題小項目 2 撮像装置の同期には複雑な構成と処理が必要であり、正確な画像同期が困難	撮像装置と音声データの同期に関する課題が示されている。撮像装置の動作制御に音声データが関連付けられているが、音声データの発生源が不明瞭である。また、撮像装置の同期には複雑な構成と処理が必要であり、正確な画像同期が困難であるという課題が示されている。航空機などの振動により、撮像データの品質に影響が及ぶ可能性もある。	特開2019-220836、 特開2019-12913、 特表2019-526950、 WO2018/057069、
			課題小項目 3 通信速度の不安定さと直接通信の必要性の課題	ドローンとリモコンにおける通信方式に関する課題が示されている。災害発生時に監視カメラの画像データを送信する仕組みが提案されているが、通信速度の不安定さや直接通信の必要性が指摘されている。無人航空機とリモコンの通信は2、4GHz帯の電波を用いることが望ましいとされている。	特開2018-70010、 特開2017-147718、
課題大項目 2 セキュリティ課題	課題中項目 2 ドローン監視システムにおける課題	ドローンを用いた監視システムの発展には数々の課題が存在する。屋内やGPS信号が届かない環境での自律航行の困難さ、位置情報の正確性の欠如、及び被監視者の保護にかかわる境界が主な問題点として挙げられる。救助支援装置では、遭難者の携帯電話がGNSSを受信していない場合の位置特定が難しく、捜索システムにおいても無人航空機の複雑な制御とコストが課題である。さらに、防犯システム技術では巡回警備員の対応速度や追跡能力、携帯端末を介したカメラ操作の難しさや画面の小ささが問題とされている。また、ドローンが危険に遭遇した際の有効性が示唆される一方で、これに関連する課題も指摘されている。	課題小項目 1 監視システムにおける自律航行や位置情報の把握の限定性課題。被監視者の保護も問題。	ドローンを活用した監視システムにおいて、屋内やGPS信号の届かない場所での自律航行が課題となっている。また、位置情報の正確な把握や被監視者の保護の限定性も問題とされている。これらが監視システムの発展における課題ということが示されている。	特開2019-208197、 特開2023-75095、 特開2015-207149、 WO2018/083798、
			課題小項目 2 遭難者救助支援装置において、遭難者の携帯電話がGNSS非受信状態にある場合、位置情報を特定できないことである。また、従来捜索システムでは、無人航空機の複雑な制御と高いコストが問題として示されている。	遭難者救助支援装置の課題は、遭難者の携帯電話がGNSS非受信状態にある場合、位置情報を特定できないことである。また、従来捜索システムでは、無人航空機の複雑な制御と高いコストが問題として示されている。	特開2024-2715、 特開2022-83243、 特開2022-108823、 特開2020-180882、
			課題小項目 1 ...	...	...
課題中項目 3 通信速度の不安定さと直接通信の必要性の課題		課題小項目 1 ...	...	...	

● 導入用情報

動作環境	OS	Windows 10 / 11、Mac OS X、Linux
	その他	Google Chrome、Mozilla Firefox、Safari、Microsoft Edge（いずれも最新版を推奨）
	関連ソフト	
サポート体制		訪問・電話・メールでのサポートを随時実施
費用	導入費	別途お問い合わせください
	ランニングコスト	別途お問い合わせください
	その他	
その他・特記事項等		